

スタッコフレックス施工要領

スタッコフレックスの施工手順（3×10板による乾式工法）

イーストボード
イーストルーフ
シルバークリー
イースト
通気シート
ウッドピース
オークリッジ
スーパース
レミア
エコフリース
ビオフィリース
しゅくしいフリース
スタッコフレックス
ルナしゅくしい



3×10板の目地部分をベースコートで埋め、メッシュテープ(W=152mm)を貼ります。コーナージョイントは、メッシュテープが半分づつ重なるようにダブルで貼ってください。
(役物を使用の場合を除く)



コテ及びパテヘラでメッシュテープの上からベースコートを塗り、表面がフラットになるようにしごきます。



ベースコートの仕上げ幅は、250～400mmとなります。



乾燥後、金ヘラ、サンドペーパー等でバリ取りをします。サンドペーパーの番手は#50～#80が目安です。



サイディングと目地処理部分の段付きやバリがないように仕上げてください。



下地処理完了。乾燥を確認後シーラー処理を行い、仕上げの準備に入ります。



仕上げ塗装の前にスタッコフレックスフィニッシュを攪拌機で十分に攪拌します。あらかじめ出荷時に粘度調整をしますが、施工しにくい場合は 600cc/ 缶を目安に清水を各缶ごと一定量で加えながら、粘度の調整をしてください。

吹付け仕上げ



4～6mm口径のノズルで全面に吹き付けを開始します。目地処理部分と境界部がフラットとなるように下吹きを行い、その後仕上げ吹きを行って下さい。仕上げは各面ごとに仕上げて下さい。



＜吹付け施工例＞
3×10板に目地処理を施し、スタッコフレックスサンドフィニッシュを吹付け。

コテ塗り仕上げ



コテ等を用いて、好みのテクスチャーに仕上げます。速乾性ですので、仕上げ塗りは最低2人以上のチームで各面ごと素早く仕上げて下さい。



＜コテ塗り施工例＞
3×10板に目地処理を施し、スタッコフレックスサンドフィニッシュをコテ塗り。